

〔様式 1〕

## 事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月12日			
平成15年度	事業コード	36110	電話	042-769-8200
担当部課名	企画部	広聴広報	課	広報 班
事務事業名	広報さがみっ子(小・中学生版広報紙)			

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第6章	高度情報化への対応を図ります	事業開始年度
基本施策名	第1節	豊かな市民生活を実現する情報化の推進	63以前年度
施策名	第1施策	情報通信メディアを活用した行政サービスの推進	

## 2 実施根拠及び関連法令等

--

## 3 事務の区分

自治事務

## 4 経費の区分

その他の経費

## 5 事務事業の分類

市単独事業

## 6 受益者負担

なし

## 7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
相模原市からのお知らせなどを、小・中学生に分かりやすく広報する。いわゆる広報さがみはらの子ども版。 15年度からは市ホームページで配信予定。	市内小学校4年生～中学生(市立学校、相模女子大学小学部・中学部、東海大学付属中学校)
	対象数 38,500部
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
7月、11月、3月に発行。 1面は小・中学校からの絵と作文を掲載。 2面～7面で、市からのお知らせや事業などを、特集という形で掲載。内容は、7月＝「環境について(環境家計簿)(ごみ減量とリサイクル)」、「夏休み特集」、11月＝「市の施設紹介」「フォトシティさがみはら」、3月＝「中核市へ移行」「近隣市町の紹介」。 8面はトピックスなど。 平成13年度までは、各小・中学校に原稿(学校ニュース)を書いてもらっていたが、14年度からは学校ニュースの代わりに、市からのお知らせなどを特集として掲載するようにした。	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

## 8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
成果指標								
活動指標	配布率	配布部数 / 対象者数	対象となる小・中学生への市政情報の提供の公平性を計る	100	100	100	×	×

## 9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費					
決算(予算)額	1,994	1,859	1,764	0	0
人員・時間数	3人・5日	4人・4日	3人・6日	3人・3日	3人・3日
人件費	484	516	580	290	290
その他経費	0	0	0	0	0
合計	2,478	2,375	2,344	290	290
特定財源	0	0	0	0	0
対象数	38,000	38,000	38,500		
対象の単位あたり経費	0.1	0.1	0.1	#DIV/0!	#DIV/0!

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A: 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B: 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C: 達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	入札等契約前に、最新の児童・生徒数を調べており、市内の小・中学校に通う児童・生徒には全員に配布している(小学生は4年生～)。
(2)必要性 評価 A ▼	A: 適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B: 一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C: 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 14年度からはマンネリ化していた学校ニュース(各学校の特色などを学校に書いてもらう)を止め、市からのお知らせなどを特集として掲載した。子どもたちに市政についてビジュアル的に知らせる媒体としてはニーズにかなっていると思われる。
(3)有効性 評価 A ▼	A: 有効である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B: 一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C: 有効ではない		説明
(4)効率性 評価 B ▼	A: 優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B: 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C: 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている <input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
		説明	15年度からはインターネット化し、小・中学生だけでなく、数多くの市民に見てもらえる物を目指す。
(5)公平性 評価 B ▼	A: 公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B: 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C: 公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	(4)の理由から、これまでは小・中学生を対象にしており、広く市民に見てもらえる機会がなかった。ビジュアル的に市政を紹介するものとしては、小・中学生だけでなく一般市民にもふれて欲しい。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明: 15年度から市ホームページに掲載するため、より多くの市民(小・中学生だけでなく)に見てもらえる。	手段	15年度から、業者に印刷等を委託しなくなるため、予算計上していない。
		削減額	2,062 千円

11 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較
		他自治体では、子ども向けの広報紙を作成しているところはほとんどない。
今後の進め方		
<input type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 紙ベースで作成して、学校を通じて配布しても、なかなか読んでもらえているか微妙。15年度より市ホームページに掲載する事で、受動的から能動的な子ども向け広報となることが期待される。
<input checked="" type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--